ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

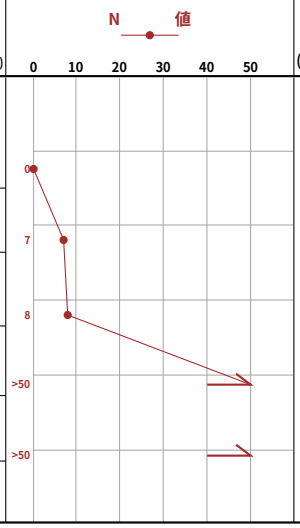
ボーリングNO.									
シートNO.									

ボーリング名	No.3	調査位置				北　緯	36 ° 28 ' 06.0000 "
発 注 機 関	栃木県真岡土木事務所			調査期間	2008-06-11 ～ 2008-06-12	東　経	140 ° 09 ' 33.0000 "
調 査 業 者 名		主任技師		現　場 代 理 人		コ　ア 鑑 定 者		ボーリング責任者	
孔 口 標 高	140.01 m	角度	180° 上 90° 下 0° 0.00 °	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南 .00 °	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0° 0.00 °	使用機種	試 錐 機		ハンマー落下用具	
総 掘 進 長	5.16 m								エンジン		ポ ン プ	

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日
	139.36	0.65	0.65		埋土 (Fl)	暗褐	緩い		φ0-300mmの岩砕が主体。粘土分が混じり緩い。		06/12 0.60
1	137.86	1.50	2.15		礫混じり有機質シルト (MO-G)	黒褐		軟らかい	未分解の有機物が多く混じる。φ2～30mm程度の角礫が混じる。非常に軟らかい。		
2 3	136.66	1.20	3.35		粘土質礫 (GC)	暗褐	中ぐらい		2.15～2.75mはφ10～60mm程度の亜角礫が多い。φmax150mm程度。粘土は高含水で軟らかい。2.75～3.35mはφ2～30mmの亜角礫が主体。粘土分が多い。		
4	135.51	1.15	4.50		風化頁岩 (Sh)	黒	密な		コアは粘土混じり礫状となる。一部は珪質であり白色を呈す。		
5	134.85	0.66	5.16		頁岩 (Sh)	黒	密な		丸みのある角礫状コアとなる。		

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0－10	10－20	20－30	打撃回数／貫入量 (cm)
1.00	00／50			00／50
1.50				
2.05	1	3	3	7／30
2.35				
3.05	2	2	4	8／30
3.35				
4.00	13	18	19／7	50／27
4.27				
5.00	28	22／6		50／16
5.16				



原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日
		1.35	No.3			
		1.90				